

続けてきて良かった 小さな活動

中志津クリーンクラブ 会員14名
 発足：1994年1月
 活動内容：中志津の道路と公園の清掃
 活動日：毎月1回 第3日曜日 (4月~10月 午前8時~9時 / 11月~3月 午前9時~10時)
 活動場所：中志津1~7丁目

ゴミのない街に住みたい街のそうじ屋さん 中志津クリーンクラブ

中志津クリーンクラブの活動に高校生が注目!

佐倉市ボランティアセンターから「地域の環境(ゴミ問題)について探究学習のテーマにしている高校生が、中志津クリーンクラブの活動に興味を持っているので話をしたい」と連絡がありました。

「高校生が地域のゴミ問題に興味があるなんて珍しいな、現代の若者が考えているのはもっと大きな環境問題?」と半信半疑で高校生3人と会いました。

私たちは28年にわたる活動を、思い出話をするかのように、また時には熱をこめて語りました。

「スタート時は指定袋に入れて出すべき生活ゴミ、たばこの吸い殻、粗大ゴミまで捨てられ、毎回、回収袋が山と積まれていました。でも数年過ぎる頃からゴミは減っていき、加えて個人で街の清掃活動をする人を見かけるようになり『ゴミの少ない街になってきたね』と仲間と実感したものです。しかし今もゴミはゼロではなく、これからもゼロにはならないでしょう。だから私たちはこの活動を続けていきます」と話しました。



うなずいていた高校生から「実は、今日は皆さんにポイ捨てをなくすにはどうしたらいいかを教えてもらいゴミ問題の根本的な解決策は何かを知りたかったのですが、皆さんの話を聞いて、この問題の深さがわかったような気がしました」と。こうして1回目の意見交換は終わりました。

高校生の想いは「拾う」から「捨てない」街づくり

2回目の意見交換で会った時、高校生は自分たちの「拾うから捨てない街づくり」という目標を教えてくださいました。ゴミがなく住み良い街をつくるのが地域の活性化につながることで、そしていくらゴミを拾う人がいても、ポイ捨てをする人がいては意味がなく、「捨てない」ことに焦点を当てるべきだという考えからその目標を立てたと話してくれました。また目標の他に「ゴミを拾い続け住み良い街を作ろうとする人たちがいて、その拾い続ける姿が人の意識を変えていくということに気づきました」とも話してくれました。



「今回感じた気持ちを活かして校内の清掃活動に取り組んでみます。そのためには清掃活動がしやすい掃除道具の準備など、掃除の意欲がわくような環境作りが大事だと感じています。そして清掃後の爽快感を生徒みんな味わえたらいいなと思います」と。彼らのこれからの意気込みに感動する私たちでした。

そして10月の中志津クリーン

クラブの活動を体験したいとの申し出があり、ここ数年、ただ静かにゴミを拾い続けてきた中志津クリーンクラブにとって高校生との出会いは、何か新しいものを感じさせてくれました。



28年前の私たちの想いは今の高校生と一緒に

今回のことで昔を振り返ってみて驚きました。スタート時は、ボランティア活動が世の中で注目され始めたころだったと記憶します。地域の仲間と何かボランティア活動をしたいねと話し合い「自分たちの住む街を良くしたい、住み良い街にしたい、地域の役に立つ活動はなんだろう」と考えたことを覚えています。なんと、今回の出会った高校生の気持ちとまるで同じだったのです。私たちは道端や公園の清掃をしようと思いつき、やるからには長く続けたいという思いから活動時間は1時間だけ、活動日の変更はしないなど『シンプルさ』を心がけました。そのかいあっての28年間だったと思います。

記録を見ると始めた頃は勢いがありました。ポスターや立て看板を設置しての「ポイ捨て防止活動」、メンバーが全力で取り組んだ「落ち葉問題解決に向けてのアンケート調査」など懐かしいです。現在こうした取り組みの結果、ゴミの量は高齢化した私たちの体力に見合う少なさになっています。

28年前の様子



白い袋とピンクの袋に分けてゴミをまとめています

現在の様子



ゴミは少なくなりましたが、自転車が捨てられていました



これからも中志津クリーンクラブの活動は続きます。小さな活動が街をきれいにするにつながり、また活動を通して多くの人々との出会いがあることを思うと、やめられません。余談ですが高校生に注目されたことでメンバーに明るさが増したようです。

最後に、高校生の前向きな姿勢に明るい未来を感じました。若い彼らとは住む地域は違いますが、これをきっかけにそれぞれの地域での清掃活動はもちろんのこと、様々な分野で活躍してもらいたいです。そしてボランティア活動がもつたくさんの魅力を味わってもらえたら嬉しいです。

高校生からの感想

私たちの通う高校には探究活動という自らテーマを決めて研究をする授業があり、私たちは地域のゴミ問題をテーマにしています。意見交換では、「清掃活動を通して、ポイ捨てをする人たちの心を変えられる」というお話が特に印象的で、自分の行動が誰かに良い影響を与えるという考えが素敵だと感じました。実際に清掃活動に参加させていただいた際には、思ったよりも街にゴミが落ちておらず、皆さんの長年の活動が地域の美化に大きく貢献していることを実感しました。ボランティアの方々には、ゴミ問題のことはもちろん、生きていく中で大切な考え方も教えていただいたように思います。本当にありがとうございました。



ボランティア活動を続けるためのヒント

- ①活動日時を固定して時間延長はしない
- ②シンプルな活動
- ③支えあう仲間がいる